



宮城

被災地から世界へ  
日本の美しさと出逢う、幸せ  
着物地をリメイクした  
アップサイクル

WATALIS

WATALIS(宮城県亘理郡  
亘理町字中町、引地恵代表取締役、0223・23・1975、  
<https://watalis.com/>)は、被災

地である宮城県亘理町で、震災後に起業。人口減少や高齢化が進む被災地域内で、「返礼文化」「縫製技術」「感謝を形にする高齢女性の生き方」という無形の地域資源を可視化し、着物地をリメイクした巾着袋「FUGURO(ふぐろ)」を商品化した。

箆笥に眠る何千枚ものの中から選りすぐったおめでたい文様の着物地を、亘理町の女性たちが一つひとつ丁寧な手仕事で、高品質な商品に仕上げている。このビジネスモデルが高く評価され、復興庁、日本政策投資銀行、中小機構主催の各種ビジネスコンテストでの受賞歴があり、中小企業庁主催はばたく中小企業・小規模事業者300社にも選定



縁起が良くおめでたい文様の着物地で作った“和”アイテムがたくさん!



2016年8月23日、蔡英文台湾総統表敬訪問にて、宮城県知事から「FUGURO(総桐箱入)」が手渡された

された。

スイス屈指の時計メーカー「ジラール・ペルゴ」や「アイリスオーヤマ」「コスメティック・アイーダ」をはじめ国内外の企業とのコラボレーション商品の開発を行い、ブランド力を向上。「FUGURO(総桐箱入)」は、宮城県知事外遊の際などの記念品に選定され、宮城県特定随意契約制度認定新商品の認定も受けている。さらに、「きものワインボトルケース」が、Long-Term Investors Club 年次総会および D20 Conference Tokyo 2019 における海外ゲスト向けの土産品に採択され、好評を博している。

全国の箆笥に眠る約7tの着物地の回収・リメイクを進め、亘理町の女性たちがデザイン、加工する。低迷する繊維のリサイクル率向上を図り、廃棄寸前の着物地の経済的価値を高めて再び世に出す「アップサイクル」の仕組みを創造した新たな再生文化を、東北から国内外へ発信し続けている。